

《資料館便り》

平成 27 (2015) 年
5 月号

石川町立歴史民俗資料館は、町の文化財保存と活用、町民の教育、学術及び文化の発展を目的に、昭和 49 (1974) 年秋に開館しました。公的施設としては、県下のさきがけの一つです。

○「資料館便り」編集：発行 石川町立歴史民俗資料館
〒963-7845 石川町字高田 200-2 0247 (26) 3768

『100年ぶり！故郷へ』

○石川の自由民権 140 周年 ～ 石川ゆかりの人々が登場！ ～

今年、明治 8 (1875) 年に「有志会議」(石川の自由民権運動を推進した石陽社の前身)が発足して 140 年にあたります。この記念すべき年にふさわしい「お宝」が石川に帰って来ました。

森嘉種※1 が、大正 4 (1915) 年※2、河野広中※3 の第二次大隈重信内閣の農商務大臣就任を祝して贈った漢詩がそれです。これは、河野にゆかりのあったいわき市小名浜の小野家が保管していたものです。本年 2 月～3 月にかけて、『福島民報』に連載された、小豆畑毅氏(石川町文化財保護審議会会長)執筆による『森嘉種伝』を、現当主である小野一雄氏(いわき歴史文化研究会代表)がご覧になったことで、石川町(歴史民俗資料館)への寄贈を決意されたのです。正に、『100 年ぶり』の帰省となりました。

- ※1 森嘉種 (1862～1933)：現学法石川高等学校初代校長 国学者・漢学者・石川地方の鉱物研究においても大きな功績を残した。
- ※2 大正 4 (1915) 年：わが国は、前年に勃発した第一次世界大戦に参戦。中国大陸でドイツと交戦していた。
- ※3 河野広中 (1849～1923)：旧三春藩士 明治 8 (1875) 年には石川区長となった。東日本における自由民権運動を牽引した。



↑ 小豆畑毅氏(左) 三森孝則館長(中) 小野一雄氏(右)

蛟龍政海久潜淵 際會風雲上九天
立憲争鑣普獨國 磐州翁任着先
鞭 贈河野農商務大臣 小峯※
生

バンシユウオウ センベン
磐州翁、先鞭トシテ任ニ着ク
リックン フドクコク ソウオウ
立憲、普獨國ト争鑣ス
フウウン サイカイ キユウテン ノボ
風雲ニ際會シテ九天ニ上ル
コウリニユウ セイカイ ヒサ
蛟龍、政海ニ久シク潜淵ス

(大意) 天に昇る竜(河野広中を竜にたとえた。)が、久しく政治の海の底に潜んでいた。(その竜が)風雲に出会い、今、正に天空高く昇った。立憲政府(大隈重信内閣)は、今、普独国(プロシア・現在のドイツ)と全力を上げて戦っている。磐州(河野広中の号)翁は、(その戦いの)先鞭として任に着いたのだ。

※小峯(シヨウホウ) 森嘉種の号)

※この掛軸は、歴史民俗資料館で秋に開催する自由民権運動の企画展で公開いたします。

お楽しみ！